

## ニトロベンゼン

別名:

C<sub>6</sub>H<sub>5</sub>NO<sub>2</sub>

劇物(ニトロベンゼン)

(性状) 淡黄色又は褐色の油状の液体で、特有のにおいがある。アルコール、エーテルに溶け易く、水に溶け難い(15.6℃で100gの水に0.19g溶ける)。寒冷時には凍結する。沸点210.9℃、融点5.7℃、引火点87.8℃、比重1.205。

### 措 置

#### 漏 え い 時

風下の人を退避させる。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。付近の着火源となるものは速やかに取除く。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

(少量) 漏えいした液は、多量の水を用いて洗い流すか、又は土砂、オガ屑等に吸着させて空容器に回収し安全な場所で焼却する。

(多量) 漏えいした液は土砂等でその流れを止め、土砂、オガ屑等に吸収させて空容器に回収し、安全な場所に移す。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

#### 出 火 時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)

消火剤、水噴霧等を用いて消火する。消火作業の際には必ず保護具を着用する。

(消火剤)

水、粉末、泡、炭酸ガス

#### 暴 露・接 触 時

人体に対する影響

(吸入した場合)

蒸気を吸入すると中毒し、皮膚や粘膜が青黒くなる(チアノーゼ)、頭痛、めまい、眠気が起こる。はなはだしい場合は、こん睡、意識不明となる。

(皮膚に触れた場合)

吸入した場合と同様の中毒症状を起こす。たびたび接触すると皮膚炎を起こしやすくなる。

(眼に入った場合)

強い刺激性はないが、角膜などに障害を起こすことがある。

#### 救急方法

(吸入した場合)

直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。チアノーゼ症状を起こした時は、酸素吸入を行う。呼吸が停止しているときは、直ちに人工呼吸を行う。

(皮膚に触れた場合)

直ちに付着又は接触部を多量の水又は石けん水で十分に洗い流す。汚染された衣服やくつは速やかに脱がせる。速やかに医師の手当てを受ける。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、速やかに医師の手当てを受ける。

### 注 意 事 項

-----

#### 保 護 具

保護手袋(ゴム)、保護長ぐつ(ゴム)、保護前掛(ゴム)、保護衣、保護眼鏡、有機ガス用防毒マスク